

ふくしま駅伝2022 只見町チーム 力走！

「第34回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会（ふくしま駅伝）」が11月20日に開催され、只見町チームが全16区間（95.0km）を駆け抜けました。

只見町チームは、中学生や高校生を中心に、大東一臣さんらベテラン層が若手を支えるチームです。11月5日に行われた団結式では、監督を務める目黒英樹さんが「若い力を発揮して大会を盛り上げたい」と決意表明をしました。

最後までタスキを繋ぎ、タイム6時間22分38秒、総合順位50位、町の部26位という成績を取めました。



▲団結式で心を一つにした選手たち

夫婦の絆50周年

「しあわせ金婚夫婦表彰式」開催



▲これからも夫婦仲良く幸せに長生きしてください

只見町老人クラブ連合会が主催する「しあわせ金婚夫婦表彰式」が11月8日に季の郷湯ら里で開催され、金婚を迎えられた町内ご夫婦23組のうち19組が出席しました。

表彰式では、表彰伝達や記念品の贈呈などが行われた後、矢澤照嘉さん・ワカ子さん夫婦が受賞者を代表し謝辞を述べました。矢澤さんは「夢のように過ぎ去った50年、振り返った時に伴侶の存在は大きく感じました。お互いに感謝しています」と話しました。

火災予防を呼びかける

只見町内「防火パレード」開催

南会津地方広域市町村圏組合消防本部の只見出張所と只見町消防団により、防火パレードが11月9日に只見町内で行われました。

目黒消防団長から訓示を行った後、只見出張所の五十嵐所長が「3年ぶりの防火パレードになります。火災が発生しやすい季節にもなりましたので、パレードで全町的な呼びかけと消防団の皆さんの集落内での呼びかけとそれぞれが重要です。よろしくお祈りします」とあいさつしました。

ストーブなどの暖房器具やコンロ等、火の取扱いにはご注意ください。



▲パレードに出発する消防車両

祝・100歳おめでとうございます

目黒マユミさんに知事賀寿を贈呈

目黒マユミさん（石伏）の100歳賀寿を記念した知事賀寿贈呈式が、11月9日に特別養護老人ホーム只見ホームで開かれました。

賀寿贈呈式では、賀寿状や木杯の伝達が行われ、ご家族や施設職員から記念の花束が贈られました。また、ご家族からは賀寿記念のだるまも贈られ、マユミさんご自身が筆をもち、目入れをしました。

マユミさんの長寿の秘訣は、「食事を3食しっかりとたべること」とのことです。

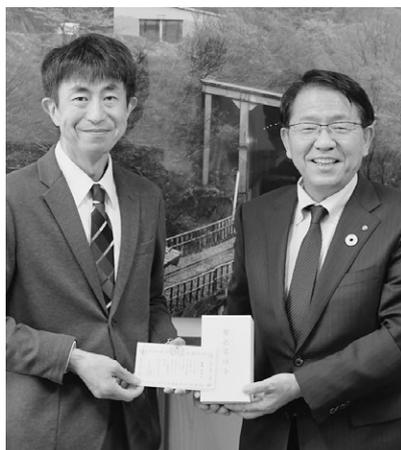
これからも長生きしてくださいね。



▲ご家族と記念撮影をしました

献血活動へのご協力ありがとうございます

「令和4年度献血団体・個人有功章」受章



▲個人銀色有功章を受章した佐藤先生



▲団体銀色有功章を受章した株式会社津工場の鈴木社長

多年・多回にわたる継続的な献血活動が認められ日本赤十字社から、株式会社津工場が献血団体銀色有功章（献血協力15年以上）、朝日小学校の佐藤幸也先生が個人銀色有功章（献血回数70回以上）を受章しました。

株式会社津工場の鈴木直記社長と佐藤幸也さんは、11月9日に役場を訪れ、受賞の報告をしました。

多年・多回にわたり、献血活動にご協力いただきまして、ありがとうございます。

歌と映像で命の尊さと平和を学ぶ

講演「地球のステージ」開催

命の尊さや平和の大切さを伝える講演「地球のステージ」が11月9日に只見中学校で開催され、町内小学校5・6年生や只見中学生、地域住民等が参加しました。この講演は、只見町教育委員会がESDの一環として開催したものです。

講師の桑山紀彦氏は、紛争や貧困の中でも強く生きていく人々や自身の経験などについて、音楽と映像を通して紹介し、「どんな人になりたいか、どんな人でありたいかが大切です。皆さんもぜひ見つけてください」と話しました。



▲桑山氏は世界中で医療救援活動を行う中で、見たものや感じたものを児童や生徒に伝えました

心を一つに音を楽しみました

「第59回只見町小中学校音楽祭」開催

只見町教育研究会の主催で「第59回只見町小中学校音楽祭」が11月10日に只見中学校で開催され、町内小学校3・4年生と只見中学校3年生が合唱や演奏を披露しました。

朝日小学校は合唱「ありがとうの花」とリコーダー演奏「聖者の行進」、只見小学校は合唱「おはよのエール」とリコーダー演奏「花笛」、明和小学校は合唱「ツバメ」と合奏「W/X/Y」、只見中学校は合唱「虹」を披露しました。

心を一つにしたハーモニーは、体育館に広がって、保護者や参加した児童生徒に響き渡りました。



▲只見中学生による堂々とした合唱

今年は只見天領そばのお披露目も

季の郷湯ら里「新そばまつり」開催



▲来場された皆さんは新そばに舌鼓をうちました

季の郷湯ら里の主催で（共催：只見町そば部会・JA会津よつば只見支店・只見町）「新そばまつり」が、11月12日に開かれ、町内外から多くの方が参加しました。

今年は只見天領そばのお披露目も兼ねており、この日提供されたそばは、お持ち帰りも含めて全て只見天領そばでした。

参加者は「素敵なストーリーのある只見天領そばが食べられて、足を運んだ甲斐がありました。只見のそばは、味も香りも楽しめて満足です」と話しました。

心に響く映画をみんなで一緒に

「第1回只見ちょうみん映画祭」開催

「第1回只見ちょうみん映画祭」が、11月26日に季の郷湯ら里で開催され、午前と午後の部合わせて、約200人が参加しました。今回は、映画「瞽女GOZE」が上映されました。

10月28日に急逝された瀧澤監督に代わり、同実行委員会長を務める渡部町長が「瀧澤監督が何を伝えたかったのかを感じていただければ幸いです」とあいさつをしました。

上映後には、小林ハル氏の幼少期を演じた川北のんさん、母役を演じた中島ひろ子さん、劇中で歌われた瞽女歌の指導を行った小林ハル氏の弟子の萱森直子さんによるトークショーが行われました。



▲トークショーで川北さんは「演じる中でハルさんの自分を信じて生きる姿が素敵に感じました」、中島さんは「大変強い親子愛を感じてほしいです」と話しました。トークショー後には萱森さんが、劇中歌を演奏しました